



碧南ロータリークラブ週報

第2167回例会 平成15年3月12日(水) 曇.最高9℃.最低-1℃

- 会長 長田 昌昇 ● 幹事 平岩統一郎 ● SAA 亀山 裕一
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 碧南市源氏神明町90番地
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 加藤知彦・竹下 豊・竹内光博・新美惣英



● 齊唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

卓話講師 愛知学泉短期大講師

石川 博章氏

半 田 RC 富 武司君 榊原 武君

西尾KIRARARC 伊藤 則男君

高 浜 RC 神谷 昌明君 都築 傳七君



<ゲスト>石川 博章氏

会長挨拶

本日は新たな産業の空洞化の話を致します。

製造業がアジアなどの低賃金の発展途上国へ移り始めたのはもうふた昔の前の事だそうです。今や「産業の空洞化」は製造業にとどまらずサービス業からIT分野までおよび、高度の知識を必要とする職業が世界中の発展途上国へ流出しているとの事です。

例えば、この一年間でバンク、オブ、アメリカは3700人の技術スタッフを解雇したそうです。バンク、オブ、アメリカはアメリカ有数の銀行ですがこの銀行から消滅した職の内、3分の1がインドの会社に外部委託されたそうです。アメリカで時給12000円の仕事がインドでは時給2400円ですむそうです。あるインドの会社では250人のエンジニアがバンク、オブ、アメリカのITアプリケーションを開発しており、またアメリカのローン会社に委託され住宅ローンの顧客管理をしているそうです。アメリカやイギリスの病院の為にインドの医療技師がインターネットでCTスキャンの結果を読み取っていること。インドの他、中国、フィリピン、南アフリカ、ロシア、東欧へこのような先進技術の外注が行われている。日本でも有名なクレジット、カード会社の顧客管理や、ある会社の給料計算、エンジニアリング会社の詳細設計や電話などによる顧客対応窓口までインド、フィリピン、中国に移っているようです。今後10年間でこのような傾向は一層進みアメリカだけでも350万人のホワイト、カラー職が海外に移るとの事であります。

背景には、高水準の教育を受けた人材がインド、中国、フィリピンに多数いると言ふことだそうです。日本もアメリカと同じように先進技術に対応する職業まで海外に委託される筈です。現にNECは3月期で昨年の30%増で中国に発注しているようです。これらの若者は世界中の同世代を相手に競争しなければなりません。反面日本国内にとどまらず世界中の会社に就職するチャンスがあるはずです。

幹事報告

他クラブ例会変更等はお手許資料の通りです。(時間など詳細は各クラブにお問い合わせ下さい)

- ①先週の第9回理事会報告、1.2月収支は原案通り承認。
- ②牟禮研吾会員他社出向に伴い3月31日付退会届受理。
- ③緑化推進事業の記念植樹、例年通り予算承認。
- ④第11回ライラセミナー、当クラブは中部大学の杉浦広哲君、東海医療工学専門学校の小野内多恵さんを派遣することに決定。
- ⑤第9020地区オーストラリア、アデレード山火事見舞金1万円承認。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

3週続けて100%でしたので奨励賞のタオルを用意しておりますのでお持ち帰り下さい。

〈ニコボックス委員会〉

高浜RC都築傳七様 高浜クラブ都築です。お世話になります。

理事会構成メンバー(役員・理事)12名 3月5日の碧南RC創立記念例会が盛会となりました。有難うございました。

中山 寛三君 先週創立記念日に下手な話を聞いて下さいまして有難うございました。

井上 達夫君 3月5日の創立記念日乾杯の写真が週報に載りました。

長田 昌昇君 高浜RC都築会長いつもお世話になります。ようこそ碧南へ
卓話の講師石川さん、先日は大変お世話になりました。ありがとうございました。

岡島 淳一君 欠席しがちでお詫びのニコボックスです。

長田 豊治君 卓話講師石川博章先生をご紹介します。

早退7件 合計45,000円

〈親睦活動委員会〉

◎3月度会員誕生日

15日 小笠原良治君 21日 加藤 知彦君

◎3月度奥様誕生日

6日 小久保ふじ枝様(慶久君) 10日 犬塚 清子様(敦統君)

13日 奥谷由紀子様(弘和君) 20日 加藤 弘子様(知彦君)

24日 小笠原恵子様(良治君) 28日 杉浦もと子様(昌裕君)

◎3月度結婚記念日

2日 杉浦 昌裕君・もと子様 28年 3日 三嶋 正君・雅子様 38年

16日 長田 徳雄君・利子様 43年 20日 平岩 辰之君・範江様 20年

22日 竹中 義雄君・くみ子様 28年 27日 加藤丈太郎君・美恵子様 40年

27日 杉浦 晴彦君・有実様 26年 31日 加古 雅敏君・鈴子様 38年

◎3月度入会記念日

3日 石川八郎右衛門君 小林 清君 5日 山中 寛三君 11日 石川 春久君

15日 青木 稔君 杉浦 求君 鈴木 敏弘君 平岩統一郎君 18日 鈴木 並生君

卓 話

「藤井達吉・その業績と作品」

愛知学泉短期大講師 石川 博章氏

皆様ご存知のように達吉は棚尾出身の美術工芸家で明治14年生まれ、昭和39年、83歳の生涯に多くの作品を残しています。特筆すべきは創作のジャンルが広かったこと、七宝・刺繡・染色・金工・木工・紙芸・竹工・陶器工芸・木版画・油絵・日本画など。また白木屋（現東急百貨店）でのデザイン指導、図案集作成活動、大正末から昭和初期においては主婦の友手芸、美術評論著述にも健筆をふるっています。一方帝国美術学校（現武蔵野美大）での活動や官展工芸部設置に尽力するなど工芸振興に大変熱心でした。作品はコレクターの他に主所蔵先として愛知県美術館、豊田市郷土資料館、瀬戸市文化センター、岡崎市美術館、小原和紙展示館等があり、それらのいくつかは常設展示されています。最近東京国立近代美術館にも屏風作品が収蔵され、全国レベルで知られるようになりました。

達吉の業績を端的に表現するなら「工芸の近代化への貢献」ではなかろうか。職人的装飾商品であった工芸品を作品として芸術表現に高めたことでした。模様であれば自分のスケッチをもとに考案したり材料も従来のものにこだわらず使っていくこと、地域工芸の振興活動拠点とした瀬戸の人たちには「轆轤は自分でひけ、轆轤は自分でひけ」とい、小原和紙の人達には「スケッチをしろ、スケッチをしろ」と言いました。個性の表現は作品の原点であります。後に人間国宝になった高村豊周が著作の中で「新興工芸の恩人は富本憲吉と津田青楓と藤井達吉」とも述べています。24歳で上京、活躍しながら中央の美術界の体質に失望し後半生の拠点を愛知に移し瀬戸陶芸界隆盛の一助と小原和紙近代化再生に奔走しました。一時期碧南の窯業にもそういった活動を試みるのですがこれは残念ながら成就しませんでした。

藤井芸術を語る時「継色紙」が挙げられます。料紙にいろいろな古紙を貼り、その上に絵を描いたりして自作の歌を書き込んだ平面作品ですが現代の美術史家、評論家、学芸員などには充分に評価されていません。幾分難解なところがあり、正直なところ一般には理解されにくいものがあり直接的に藤井と関わりを持った人にしか理解できない次元が存在するのかも知れません。しかし華麗さには欠けるものの自由奔放な味わいの魅力は、ジャンルこそ異なってもピカソのパピエコレやマティスの自由さに匹敵し、歌も自作なのでオリジナル性が高く日本のものです。達吉のいう「格のある作品」を根底に「継色紙」に一番力を入れていたようです。生前自作について多くを語らない達吉でしたがわずかながら見つける事が出来ました。「色の紙を張って字見た様なものがうえにあります。ありやわしの極楽の音楽ですよ。きこへないでしょう。あの音のきこへるのは、わしと同じ人だけですよ。それは見えません。こんな馬鹿な夢は」晩年の言葉なので開き直りにも聞こえるのですが、覚えておいて頂きたいのは、「極楽の音楽」、継色紙は「絵でありながら音楽」と本人がいっているところです。また「現在、または近い未来には希望をもてなかつたが、遠い未来への希望は捨てなかつた」一時期日本の工芸界のトップを駆け抜けたランナーとしての生き様に混迷を極める今日の我々は何か学ぶことがあるように思います。

今現在、碧南市文化会館で達吉と生前親交のあった岡崎の伊藤茂先生がこの度寄贈された作品を中心に構成された藤井達吉展を開催中です。お時間が許される方はご参観いただけすると幸いです。



スライドによる説明

次回例会案内／3月26日（水）卓話
「バングラディッシュ人民共和国の現状について」
オイスカ 西尾支局長 荒川 和郎氏